



2022年10月31日

各 位

上場会社名 株式会社サンリツ
代表者 代表取締役社長 三浦 康英
(コード番号 9366 東証スタンダード)
問合せ先責任者 取締役常務執行役員 尾留川 一仁
(TEL 03-3471-0011)

営業外収益(為替差益)の計上並びに

第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異、通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)において、営業外収益(為替差益)を計上いたしましたので、お知らせいたします。

また、当社は、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、茲許の事業環境も踏まえ、同じく2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益(為替差益)の計上について

当社は、2023年3月期第2四半期累計期間において、急激な円安の進行により為替差益257百万円を営業外収益に計上いたしました。これは主に、子会社に対する長期貸付金を期末為替レートにより換算した結果発生したものであります。今後の為替相場の状況により、この金額は変動いたします。

2. 第2四半期連結業績予想と実績の差異について

(1)2023年3月期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,000	百万円 430	百万円 400	百万円 260	円 銭 46.27
今回発表実績(B)	9,969	566	776	542	95.81
増減額(B-A)	969	136	376	282	
増減率(%)	10.8	31.8	94.2	108.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	8,737	624	672	480	85.86

3. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)通期連結業績予想の修正について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 18,000	百万円 900	百万円 840	百万円 580	円 銭 103.23
今回修正予想(B)	19,000	950	1,100	800	141.35
増減額(B-A)	1,000	50	260	220	
増減率(%)	5.6	5.6	31.0	37.9	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	18,525	1,060	1,107	759	135.15

(注)今回修正予想の1株当たり当期純利益は、2023年3月期第2四半期連結累計期間における期中平均株式数に基づいて算出しております。

4. 第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正の理由

2023年3月期第2四半期累計期間連結業績につきましては、一部製品では部品不足のため、荷量が低調に推移いたしました。前年に復調した工作機械の取扱いが引き続き好調に推移したこと及び売上高が増加するなかで、販売費及び一般管理費を当初計画内に収めた結果、売上高、営業利益は当初予想を上回りました。また、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、急激な円安の進行により、主に子会社に対する長期貸付金において、為替差益が発生したことで当初予想を上回りました。通期業績予想につきましては、円安等による原材料価格の高騰やウクライナ情勢の長期化等、先行きは不透明な状況ではあるものの、当第2四半期連結累計期間までの実績を勘案し、下期も工作機械、半導体製造装置の取扱いが同程度は見込まれることから、2023年3月期の通期連結業績予想を修正いたします。

※当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

以 上